

研究所彙報

一 二〇二五年度研究所・所員リスト

- 准教授 浅野 晴哉 (犯罪心理学・臨床心理学)
- 教授 阿部 宏 (ヨーロッパ文化・思想、フランス語学・日本語学・一般言語学)
- 教授 早矢仕 智子 (日本語教育学)
- 教授 市野澤 潤平 (文化人類学)
- 教授 石田 依子 (ジェンダー学)
- 准教授 岩田 京子 (文化人類学・景観論・観光論)
- 准教授 川口 かしみ (憲法学)
- 准教授 栗原 健 (宗教学・近世ドイツ史)
- 教授 間瀬 幸江 (フランス文学・演劇)
- 教授 松本 周 (悲嘆ケア、キリスト教社会倫理)
- 教授 永田 貴聖 (文化人類学・移民研究・フィリピン地域研究)
- 学長 長谷部 弘 (経済学)
- 教授 清水 禎文 (教育学)

准教授	杉井 信 (社会人類学)
教授	田中一裕 (生態学)
名誉教授	天童睦子 (女性学・教育社会学)
教授	テイモシー・J・フェラン (異文化理解教育・異文化間コミュニケーション論)
教授	八木祐子 (文化人類学・インド研究)
准教授	兪 幃 蘭 (臨床心理学・家族心理学)
教授	吉村典子 (西洋美術・デザイン史)
客員研究員	阿部 隆 (宮城学院女子大学名誉教授・人文地理学)
客員研究員	後藤 (阪本) 純子 (元大阪市立大学文学部助教授・インド学・宗教学)
客員研究員	平川 新 (元宮城学院女子大学学長・日本近世史研究・歴史資料保存学)
客員研究員	井上研一郎 (宮城学院女子大学名誉教授・日本美術史)
客員研究員	犬飼公之 (宮城学院女子大学名誉教授・古代文学)
客員研究員	岩川 亮 (元宮城学院女子大学准教授・フランス語学・文学)
客員研究員	J. F. モリス (宮城学院女子大学名誉教授・日本文化論)
客員研究員	片瀬一男 (東北学院大学名誉教授・教育社会学・計量歴史社会学)
客員研究員	菊池勇夫 (宮城学院女子大学名誉教授・日本近世史)
客員研究員	木曾恵子 (宮城学院女子大学非常勤講師・文化人類学・タイ地域研究・ジェンダー研究)

客 研 究 員	九 里 順 子	(宮城学院女子大学名誉教授・日本近代文学)
客 研 究 員	丸 山	仁(宮城学院中学校・高等学校教諭・日本中世史)
客 研 究 員	松 本	のぞみ(日本基督教団東北教区巡回教師・キリスト教社会倫理)
客 研 究 員	森	雅彦(宮城学院女子大学名誉教授・西洋美術史)
客 研 究 員	大 迫	章史(東北学院大学教授・教育学)
客 研 究 員	新 免	貢(宮城学院女子大学名誉教授・宗教学)
客 研 究 員	山 極	優子(多賀城市埋蔵文化財調査センター研究員・民俗学)
客 研 究 員	安 田	容子(安田女子大学准教授・生き物文化史〈人と動物の関係史〉・日本近世美術史〈地方

文人・画人研究)

二 共同研究について

本年度の共同研究は次の通りである。

「南島における民族と宗教」

「多民族社会における宗教と文化」

共同研究の成果として、次の冊子が刊行された。

「沖縄研究ノート」 No.35

「多民族社会における宗教と文化」 No.29

三 二〇二五年度研究活動報告

第一回 公開研究会

二〇二六年二月一〇日(火) 一六時二〇分～一七時五〇分(≪本学図書館第一セミナー室≫)

企画・司会 八木 祐子(本学学芸学部人間文化学科教授)
『心の声』と『自由話法』—イメージ・文学・言葉—

報告 阿部 宏(本学人間文化学科教授)

〈共同研究「多民族社会における宗教と文化」主催〉

第一回グリーンフケア公開講演会「命の大切さを学ぶ教室」

二〇二五年六月二〇日(金) 一六時二〇分～一七時五〇分(≪本学講義館二階C二〇三教室≫)

企画・司会 浅野 晴哉(本学学芸学部准教授)、松本 周(本学一般教育部教授)
命の大切さを学ぶ教室 あなたはママの自慢の子

講師 佐藤 早織氏(犯罪被害者遺族 宮城県警察「命の大切さを学ぶ教室」講師)
第二回グリーンフケア公開講演会

二〇二五年十一月二五日(火) 一六時三〇分～一七時五〇分(≪本学大学講堂≫)

企画・司会 松本 周(本学一般教育部教授)
能登に生き、能登の街をつくる

講師 森山 奈美氏(株式会社御祓川 代表取締役社長)

第三回公開シンポジウム

二〇二六年一月九日(金) 一六時三〇分～一七時五〇分 (≪本学講義館四階C四〇三教室≫)

企画・司会 永田 貴 聖 (本学ビジネス学部教授)

「経験を書く」とは・・・

登壇者 金村 詩 恩氏 (著 述 家)

中 島 弘 象氏 (ノンフィクションライター)

指定質問 間 瀬 幸 江 (本学一般教育部教授)

八木祐子先生 定年退職記念シンポジウム『アジアの社会変容と女性』

二〇二六年二月二一日(土) 九時三〇分～一二時 (≪本学第二講義館三階K三〇二教室≫)

第一部 「北インド農村の社会変容と女性―40年の時をこえて」

報告 八 木 祐 子氏 (本学学芸学部人間文化学科教授)

第二部 報告一 「タイのジェンダー…交差する差異と不平等」

木 曾 恵 子氏 (宮城学院女子大学非常勤講師)

報告二 「ベトナムの女性たち…方法論としてのライフストーリー」

伊 藤 まり子氏 (東亜大学人間科学部国際交流学科准教授)

報告三 「ネパールの女性と儀礼…社会的経験は変わったか？」

工 藤 さくら氏 (国立民族学博物館 特任助教／人文知コミュニケーション)

報告四 「インドの村の女性たち…より良い暮らしを求めて」

菅野 美佐子氏（青山学院大学・地球共生学部・助教）

主催 宮城学院女子大学学芸学部人間文化学科

共催 宮城学院女子大学キリスト教文化研究所・宮城学院女子大学ジェンダー教育研究センター

〈共同研究「南島における民族と宗教」主催〉

二〇二五年一月一日（土）一三時～一六時（Ⅱ本学講義館三階C三〇八教室）

企画・司会 栗原 健（本学一般教育部准教授）

八重山歌謡に見る動植物の世界と人の暮らし

講師 山里 純 一氏（琉球大学名誉教授）

講師 奥土 晴 夫氏（前仙台市吉成市民センター館長）

歌 山田 たかね氏（八重山古典音楽安室流保存会教師）

四 所員消息（二〇二五年四月―二〇二六年三月）

早矢仕 智子 教授

共著 『日本語教育実習ワークブック』編著者…北出慶子・澤邊裕子・嶋津百代・杉本 香・横溝紳一郎・著者…

植村清加・塩田朝子・新矢麻紀子・瀬口雅美・高島史乃・中川祐治・中谷潤子・西村美保・早矢仕智子・山

本弘子（二〇二五年十一月二〇日、凡人社）

その他 「多文化共生を考える夏合宿」大崎―日本語教育と地域社会の現場から―企画実施（二〇二五年八月二〇日～二一日、大崎市立おおさき日本語学校・大崎市図書館〈宮城学院女子大学教育研究費〉）
その他 「第十三回韓国大学生日本語ディベート大会」審査員（主催：釜山日本人会・韓国大学生日本語ディベート大会運営委員会、二〇二五年十一月八日、オンライン）
その他 「連携のための日本語教育実習研究会」第十一回特別編企画実施（主催：科学研究費補助金基盤研究(B)23K21943、二〇二六年三月一日、大正大学）

岩田京子 准教授

論稿 「生存学研究所での資料整理―アーカイヴのための予備的作業」立命館大学生存学研究所監修、／川端美季・伊東香純編『知は分断をこえる―生存をめぐる研究の現場』臨川書店、二二―一三頁）
学会発表 「障害女性の自立生活からみる移動アクセシビリティ保障の運動」岩田京子・川端美季（障害学国際セミナー二〇二五、二〇二五年一〇月二五・二六日、大阪府茨木市立命館大学大阪いばらきキャンパス）
研究発表 「景観まちづくりの実践からみた地域の開き方」（二〇二五年度第二回宮城学院女子大学附属人文社会科学研究所新所員研究会、二〇二五年十一月一〇日、宮城県仙台市宮城学院女子大学）

栗原 健 准教授

共著 『声を聴くこと ゆらぎと気配の弁証法』（声の主体による文化・社会機構研究会編、春風社、二〇二五年

一〇月 担当部分：「静かにささやく声が聞こえた」五一―五五頁)

新刊紹介 Elizabeth MARSHALL, *Wolves in Beowulf and Other Old English Texts* (『西洋中世研究』第一七号、

二〇二五年二月、一六六―一六七頁)

記事 「女子大学の人づくり62 キリスト教主義大学で学ぶことの意味」(『仙台経済界』二〇二五年九月・一〇

月号、三二二頁)

本学キリスト教講座「聖書にはなぜ猫が登場しないのか」(二〇二五年六月二四日、講義館三〇二教室)

間瀬 幸江 教授

雑誌連載 「一九二〇年代〈狂乱の時代〉の登場人物たち」『英語教育』二〇二五年四月号～二〇二六年三月号(計

一二回)

ワークシヨップ主催 「二一世紀にジャン・ジロドゥを再読するための幾つかの視点」二〇二五年六月一日(日)、

青山学院大学(日本フランス語フランス文学会二〇二五年度春季大会)

同ワークシヨップ報告「ジャン・ジロドゥとその時代―小説、戦争、政治、女性」

情報提供 「〈反対〉から〈アライ〉へ―人権が見えたそのときと、そこからの実践」二〇二五年九月三日(水)、

和洋九段フォーラム(女子大学連携ネットワーク第一〇回ミーティング「女子大学の可能性と課題―今こそ

女子大学の存在意義を考える」)

編著書 「声を聴くこと ゆらぎと気配の弁証法」声の主体による文化・社会構築研究会(代表・間瀬幸江)編、

春風社、二〇二五年一〇月

論文 「『シャイヨの狂女』再読のアルケオロジー」『声を聴くこと ゆらぎと気配の弁証法』一四三頁～二〇二頁、

公開ワークショップ主催 「声の主体による文化・社会構築研究会編『声を聴くこと ゆらぎと気配の弁証法』

公刊記念企画 『自分の声』ってなんだろう？」二〇二五年二月二日（日）、喫茶ビジュウ

公開講演会 「『経験を書く』とは：」指定討論者（二〇二五年度第三回キリスト教文化研究所共同研究「多民族

社会における民族と文化」主催、二〇二六年一月九日、宮城学院女子大学講義館C四〇三教室）

研究ノート 「声を聴くためのメディア論ーラジオ番組制作を到達目標とする授業デザイン策定とその暫定的根

拠」『英文学会誌』五四号（宮城学院女子大学学芸学部英文学会、二〇二六年三月）三～二二頁

松本 周 教授

共著論考 「いま、建学の精神を問い直す 大学SD研修会実施を通して」（『宮城学院資料室年報 信望愛』第

三二号、学校法人宮城学院、二〇二六年三月三二日、五〇～六三頁）

論考 「聖餐の恵み」（『日本基督教団福音主義教会連合』日本基督教団福音主義教会連合、二〇二六年一月、二頁）

学会発表 「渡瀬常吉『日本神学』思惟構造の分析」（日本基督教学会第七三回学術大会研究発表、二〇二五年九

月二日、同志社大学）

キリスト教講座 「永井隆『長崎の鐘』平和への祈り」（宮城学院キリスト教センター、二〇二五年七月一日）

講演 「東アジアのキリスト教 歴史と将来展望」（在日大韓基督教会仙台教会、二〇二六年一月一九日）

田 中 一 裕 教授

論文 「Why do onion flies, *Delia antiqua* (Diptera: Anthomyiidae), avoid midday adult eclosion?」 (Applied Entomology and Zoology, 60: 135-140, 二〇二五年五月)

研究ノート 「シバズ雌雄モザイク個体の自己の性認識と他個体からの性認識について」 (昆虫と自然、六〇巻 四〇―四一頁、二〇二五年五月)

学会報告 「カイコも温度較差をもとに羽化時刻を補正するのか?」 (日本応用動物昆虫学会第六九回大会、幕張メッセ国際会議場、二〇二五年三月二二日)

学会報告 「シバズ二化個体群における雌性先熟・雄性先熟の光周期コントロール」 (日本昆虫学会第85回大会、東京農業大学、二〇二五年九月一四日)

学会報告 「コアシダカグモの歩行活動リズム」 (日本蜘蛛学会第57回大会、東京環境工科専門学校、二〇二五年九月二八日)

講演 「おしえてムシはかせ〜コオロギについて学ぼう〜」 (チャレンジ講座スペシャル)、名取市図書館(二〇二五年七月二二日)

講演 「動物の冬越し―寒さに耐える仕組み―」 (あおばカレッジ)、仙台市青葉区中央市民センター(二〇二五年九月一三日)

その他 「宮城県におけるツシマトリノフンダマシの初記録」 (KISHIDAIA' 一二六巻、三九―四〇頁、二〇二五年二月)

天童 睦子 名誉教授・ジェンダー教育研究センター顧問（女性学、ジェンダー論、教育社会学）

著書（編著） Mutsuko Tendo & Ritta Vornanen (Eds.) *Holistic Well-being and the Empowerment of*

Children and Women: Case Studies of Care, Resilience, Sustainability from Finland and Japan, Tokyo: Gakubunsha Co., Ltd., March, 2026.

国際学会報告 Mutsuko Tendo and Kyoko Asakura, "Hidden Patriarchy and Empowerment of Women in

Disaster: A Case Study of Recovery in Miyagi, Japan", the 5th Forum of Sociology ISA @Mohammed V University of Rabat, Morocco, July, 10, 2025.

国際研究会報告 Mutsuko Tendo and Atsuko Shimbo, "Invisible Pedagogy and Family Education: A

Generational Study of Cultural Transmission and Socialization in East Asian Families", JSES Virtual International Conference on Sociology of Education 2025, (Online) July, 31, 2025.

国際会議報告 Mutsuko Tendo, "Family Education and Democracy in Post-1945 Japan", the 7th World Congress of Education, @ Grand Prince Hotel Osaka Bay, Japan, November, 13th, 2025.

学会報告 「女子大学の展開に見るもう一つの近代―知識伝達とエンパワメント」国際ジェンダー学会2025年大会ラウンドテーブル「女子大学におけるジェンダー研究センターの意義と役割―その可能性と課題」

@フェリス女学院大学、二〇二五年十月五日

書評 「新刊短評」 姫岡とし子著『ジェンダー史10講』岩波書店二〇二四、『人口学研究』第六一号（四八巻一
号）、一一六―一一七頁、二〇二五年九月

講演 「男性の育児、保護者の対応をジェンダーの視点から考える」子育てひろばスタッフ研修@東京都葛飾区
子育てひろば、二〇二五年三月二二日

講演 「災害復興における人権アプローチ ―東日本大震災の経験から― 埼玉大学社会変革研究センターレジリ
エント社会部門・ダイバーシティ推進センター主催「災害×ダイバーシティセミナー」@埼玉大学総合研究
棟1号館シアター教室、二〇二六年一月二二日

メディア記事寄稿 「なぜ自然災害の死者数は女性のほうが圧倒的に多いのか「高齢者が多い」だけでは説明で
きない隠れた理由」PRESIDENT Online、二〇二五年六月二七日

八木 祐子 教授

編著書 『変容するジェンダーの人類学―現代アジアでしなやかに生きる』（八木祐子・菅野美佐子編）明石書店
（二〇二六年二月発行）

論文 「マリーの夢―北インド農村における高齢女性の生活世界とその変化―」『変容するジェンダーの人類学
―現代アジアでしなやかに生きる』（八木祐子・菅野美佐子編）明石書店（二六〇―五一頁、二〇二六年二月発行）
研究ノート「ボージプリー文化圏の婚姻儀礼と民俗歌謡（その7）」『多民族社会における宗教と文化』NO.29
宮城学院女子大学付属キリスト教文化研究所（印刷中、二〇二六年三月発行予定）

研究発表 「ボージプリー民謡にみる感情―Care―を中心に―」北インド農村における家族と住まいの変化―
U. P. 州東部のある家族を中心に―」（主催…文部科学省科学研究費、基盤研究(B)「『感情』の視角から南ア

「ジア研究を再考する」、宮城学院女子大学、二〇二五年二月二〇日

研究発表 「北インド農村の社会変容と女性―40年の時をこえて―」八木祐子先生定年退職記念シンポジウム

『アジアの社会変容と女性』（主催…宮城学院女子大学学芸学部人間文化学科、共催…宮城学院女子大学付属キリスト教文化研究所、宮城学院女子大学ジェンダー教育研究センター、宮城学院女子大学K302教室、

二〇二六年二月二一日）

海外調査 北インド、ウッタール・プラデーシュ州アザムガル地区 二〇二五年八月二一日～二〇二五年九月八日

「北インド、ボージプリー文化圏における家族と女性―儀礼と民俗歌謡を中心として―」に関する海外調査（宮城学院女子大学研究助成費）